

大学の世界展開力強化事業 取組実績 広島大学

【構想の名称】(タイプB-Ⅱ)

国際大学間コンソーシアムINUを活用した、平和・環境分野における協働教育

【プログラムの目的・養成する人材像】

地球市民の育成 INU参加大学及び広島大学が共有する目標である、地球市民としての自覚を有し、地球社会の一員として国や地域の持続的発展に資する人材を育成する。

【構想の概要】

国際的大学間コンソーシアムであるINUを利用して、双方向の協働教育の枠組み(ダブルディグリー・プログラム、修士サマースクール、学生セミナー)を、平和分野、環境分野および融合分野で実施する。これにより、学生・教員の派遣・受け入れを通じて、大学の教育、研究、社会連携分野での国際力の強化、特にInternationalisation at Homeを図る。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 大学間コンソーシアムINUを利用した大学間交流

欧州、米国、アジア、オセアニアにまたがる国際的な大学間コンソーシアムであるINUの枠組みを利用して、本学の基本理念と密接な関連性を有する「平和」の分野、また、地球全体の問題と関連する「環境」分野とこれらの融合分野で、協働教育を行う。

○ 学生の語学能力、目的、履修期間などに応じた大学間交流

実施形態としては、学生の属性に応じて開発された派遣・受入を伴う以下のような複数のプログラムを組み合わせる。

- ・本学学生を海外派遣することにより国際的能力を取得した人材を育成
- ・海外大学学生の広島大学への留学による人材育成
- ・Internationalization at Home
- ・教員・職員の相互派遣による国際化、人的・知的ネットワークの構築

〈INU参加大学〉



■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈3月に実施したキックオフ会議〉



○ キックオフ会議の開催

本事業に係わる全大学のINU事業関係者、平和修士サマースクール、環境修士サマースクール、INUセミナーに関係する教職員約45名が参加したキックオフ会議を開催した。全体会議とともに、3分野のWGで本取組の全体の詳細、補助金終了後の計画に関する議論とともに、平成24年8月に開催される修士サマースクールのカリキュラムの詳細、リーディングアサイメントの決定、担当教員の分担、ロジスティックなどについて検討を行った。

○ 日本人学生の派遣

INU参加校の一つである米国ジェームス・マディソン大学に修士学生3名を派遣し、Spring SchoolにてJMU大学教員・本学教員が協働してこれら学生の教育にあたった。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

平成24年2月から3月にかけて、INU参加校の一つである米国ジェームス・マディソン大学に修士学生3名を派遣した。

○ 外国人留学生の受入れ

平成23年度は期間が短かったため実績はなかったが、平成24年度から本格的に受け入れる。

〈JMUでのSpring School〉

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	3	14	25	25	25
学生の受入	0	40	63	58	58

注)H23は実績、H24以降は計画。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

遠隔地共同教育支援システムを導入し、関係大学間の緊密な連絡・調整を円滑に行うとともに、ダブルディグリー・プログラム、修士サマースクール等で使用される英語テキスト・資料の作成や学生指導等に活用する。

